



あきお かずえ 富士昭男・和江 誕生秘話

<その1> 艦長とふじの電気推進装置保証
技師との会話がきっかけ！

艦長「アメリカの砕氷艦にはペンギンのかわいいマスコットがあったんですよ。『ふじ』にもこんなマスコットがあったらいいですね・・・」

保証技師「それならば当社で作りましょう」

そうしてマスコット製作プロジェクトが始動。
いろいろな案が出た結果、マスコットはペンギンの新婚夫妻という設定になったそうです。

<その2> 製作期間はなんと10日あまり

洋裁経験のある職員や絵の上手な職員の皆様
がときには徹夜のぶっ通し作業で完成させたそうです。

<その3> 名前は姓名判断の力もかりて

いろいろな案が出ましたが昭和基地の“昭和”を
一字ずつもらった「昭男・和子」に。苗字は“ふじ”
をそのままもらって「富士」に。
ただ、そのあとに高名な先生のところへ姓名判
断にもちこまれると、「昭男はいいが、和子は水
にちなんで和江とした方がよかろう」とのこと。
そうして名前は「富士昭男・和江」と決まった
そうです。

<その4> 結婚式・披露宴も開催

川崎工場内の神社において、工場長以下の列席
のもと厳かに挙式が執り行われ、三三九度の杯
も交わされました。夕刻には披露宴も開かれ、
艦長はご招待を受けて、館山での壮行会から急
遽ヘリコプターで帰艦し、馳せ参じたとのこと
です。披露宴ではウェディングケーキも用意され、
コーラスによる結婚行進曲が披露されるなど、
100名以上が出席する盛大なものだったそう
です。その後、「お二人」は「ふじ」に乗り、南極
への新婚旅行へと向かいました。

来年の1月18日まで特別展開催中！

その名は富士昭男・和江 マスコットキャラが復活 南極観測船ふじ開館40周年



富士昭男・和江が帰ってきた
現在、南極観測船「ふじ」が名古屋港ガーデ
ンふ頭に係留されてから40周年を迎えたこと
を記念して特別展「南極観測船と南極観測
船」を名古屋港水族館・南極観測船ふじ・名
古屋港ポートビルの3施設で開催している。
特別展開催にあたり「ふじ」現役時に乗っ
ていたというペンギンのマスコットを復活さ
せることに。当時製作を担当したのは「ふじ」
の電気推進装置を手掛けた富士電機株式会社。
今回は提供いただいた当時の貴重な資料を参
考に作製した。マスコットは特別展会場の1
つである名古屋港水族館南館エントランス
ホールでフォトスポットとして展示している。